



センターニュースをお読みの皆様へ

まだまだ落ち着かない日々が続いております。どうしても新型コロナウイルス感染症の話題ばかりになりがちですが、今回は少し近い未来の楽しい話をさせていただきます。5年前から構想を練っていた新病棟建築のご報告です。2019年よりコンストラクションマネジメント業者にお手伝いいただき、私達の想いを形にしてきました。基本構想、基本計画が終了し、いよいよ基本設計に入ります。厳正なるプレゼンテーションを行い、設計業者も決定しました。

たくさんのアイデアと希望がありますが、これからはコンストラクションマネジメント業者、設計業者、島田療育センターで検討を重ね設計図に盛り込んでいきます。入所利用者様には安全で快適な生活空間を、そして職員にとっては働きやすい環境を検討していきます。



事務部 部長
森久保 真由美



今夏、9月11日(土)にわいわい祭りが開催されました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、地域開放は行わず入所利用者様のみを対象としたお祭りとなりました。炎暑から一転して低温注意報が出るほど不安定な天候が続く、当日の空模様も心配されました。5月末に準備委員会が始動すると、入所利用者様の病棟も様々な準備に取り掛かりました。夕食のお祭り特別メニューは？島田療育センターを守

る会様寄贈品のリクエストは？浴衣や甚平の虫干しは？お祭りポスター製作は？…など本番に向けてわいわい祭りのお楽しみがゆっくりとスタートしていきます。今年度は、久保田院長の歌とギター演奏・風の鼓(かぜのつづみ)様の和太鼓演奏・花火師の方による豪華な花火、そして遥か3,000km離れたパラオのドルフィンパシフィックと当センターをライブ中継でつないだオンラインツアー…規模や内容を縮小していることを忘れ、どれもみなスケールの大きさを感じた一日でした。入所利用者様のご家族や通所・外来利用者様にもオンライン映像でお祭りにご参加いただく日も近いかもしれませんね。それとも島田恒例のわいわい祭りを再開できるでしょうか！(編集委員 岩井 理)



久保田院長による弾き語り



風の鼓様の和太鼓演奏



和太鼓と花火のコラボレーション



パラオオンラインツアーに参加



会場から引っ越したヤギさん



フィナーレのナイアガラ



YouTubeで
動画公開中!

成人のお祝いを開催しました

8月24日(火)、成人のお祝いを行いました。今年度は、第3病棟の4名の方が成人を迎えられます。この日は、ご家族様にもお越し頂くことができ、みんなで成人をお祝いしました。ご自分で写真を見て選んだお着物を着た方、スーツやネクタイでいつもより少し緊張した表情をされた方、目をパッチリと開けて参列された方、皆様とても凛々しいご様子でした。センターからのお祝いの言葉や記念品贈呈のあとは、皆様のお写真を上映しながら力強い獅子舞の演舞を楽しみました。

成人を迎えられた皆様・ご家族様、本当におめでとうございます。

(療育主任 宮沢直美)



どこでもコンサート 〜アートピアのなかまたち

8月28日(土)の午後、厚生棟で無観客コンサートを行いました。その様子は全病棟へライブ配信し、利用者様も職員もテレビやスクリーンを通して楽しむことができました。

この日お迎えしたのは、音楽大学で学ぶピアニスト・フルーティスト・オーボイストの3名様とコーディネーターのアートピア様です。コンサートは「夏の好きなことや食べ物は？」のインタビューに始まり、それぞれ「アイスクリーム・花火・かき氷」と笑顔一杯のコメント！病棟の利用者様も一瞬でファンになったことでしょう。

さて、演奏1曲目はゴーベル作曲『タランテラ』、軽快でのびやかな舞曲です。自然に体が動き出します。2曲目はフルートによる『いつも何度でも…千と千尋の神隠し』、「作品と同年でお名前に

“千”があるということで親しみを感じています」と話されていました。3曲4曲と演奏が進み、最後の曲はシヨスタコーヴィチ作曲『2つのヴァイオリンとフルートのための5つの小品』、ヴァイオリンの楽譜をオーボエで巧みに演奏されていました。イメージを伺うと「透き通った夜空」とのこと…とても美しいメロディでした。

コンサート終了後の記念撮影の際に、皆様のドレスの雰囲気が出ていて素敵！と聞いていたら、何とおふたりのドレスは色違い。しかも偶然ですと伺って、演奏もびつたりなわけですね。

(編集委員 岩井 理)



役員名簿

氏名/役職	職業又は経歴
理事	理事長 河 幹夫 社会福祉法人日本心身障害児協会 理事長 兼 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授
	有松 眞木 前 島田療育センター療育部長
	小沢 浩 島田療育センターはちおうじ所長 兼 島田療育センター統括副院長
	木実谷 哲史 島田療育センター 名誉院長
	久保田 雅也 島田療育センター 院長
	名取 はにわ 学校法人日本社会事業大学 理事長
	松下 恵 島田療育センターを守る会 代表
	太田 義次 元 多摩市役所 総務部長
監事	深澤 清時 社会福祉法人天童会 参与
	顧問 羽毛田 信吾 昭和館 館長

(敬称略/五十音順)

氏名/役職	職業又は経歴
評議員	明石 雅幸 社会福祉法人 読売光と愛の事業団 常務理事
	飯野 順子 社会福祉法人天童会 秋津療育園 理事長
	井田 千昭 前 社会福祉法人日本肢体不自由児協会 常務理事
	伊藤 英寿 一般社団法人 生命保険協会 理事/事務局長
	伊藤 雅子 社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会 会長
	遠藤 浩 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会 理事長
	篠塚 肇 公益社団法人 経済同友会 執行役
	清水 満昭 清水地所株式会社 代表取締役会長
	染谷 政克 東京商工会議所 総務統括部長
	高橋 孝雄 慶應義塾大学医学部 小児科 教授
	北郷 勲夫 元 財団法人日本障害者スポーツ協会 会長
	村岡 幸彦 国士館大学 体育学部 学部長
	村田 篤司 元 東京都健康推進財団 常務理事
	渡辺 幸子 前 多摩市 市長
	渡邊 純雄 竹田・渡邊法律事務所 島田療育センター顧問弁護士

家族向け発達支援講座2

ことばの発達を育てる関わり

家族向け発達支援講座の第2回を7月13日(火)に実施しました。当初外の会場をお借りして開催する予定となっておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されることになり、直前にオンラインでの講習会に切り替え開催させていただきました。当日は、言葉が出始める前にお子さんは様々な方法で大人とコミュニケーションをとろうとしていることや、大人がお子さんの意図を汲み取ってあげることがお子さんのコミュニケーションを育てることにつながるなどをお話ししました。事前アンケートで

もたくさんのご質問をいただき、講義では質問に対するお話もさせていただきました。画面越しではありますが、皆様熱心に講義を聞いてくださっている様子が伝わりました。

参加された皆様には直前に開催方法の変更をお伝えすることになりましたが、速やかに対応していただき無事に開催することができました。ご参加された皆様には感謝申し上げます。
(言語聴覚士 嶋原 礼子)



家族向け発達支援講座3

うちの子って不器用？
字をかくための手先のそなえ

9月5日(日)に第3回目の家族向け発達支援講座を、オンラインで開催しました。今回は、「うちの子って不器用？字をかくための手先のそなえ」というテーマで、字をかくために必要な手先の要素や、その要素を生活の中で育てるためにできる活動についてお話ししました。途中、手指の感覚を意識していただく体験や、お子様の育ちをチェックシートで確認することなども交えながら行いました。

参加者からは、「図での説明や、子ども実際の映像

なども見られて分かりやすかった」「段階を踏んで鉛筆を持てる手ができるといことが分かり勉強になりました」等の感想

をいただきました。対面での講習会に比べて、どのくらい伝わったのか実感しにくいところがありますが、保護者の方々が前向きにお子様と関わるヒントにいただければ幸いです。今後も、保護者の方々のお悩みにお応えできるよう内容を考えていきたいと思います。

(作業療法士 北川 伸尚)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？
このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。
バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

リング付きの補助箸を使っていたら、普通のお箸を使いたがりません。どうしたら普通のお箸を使ってくれますか？



A

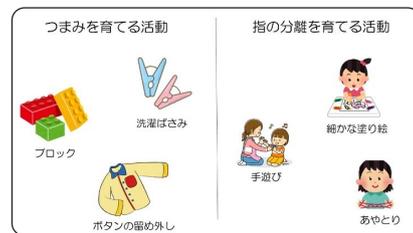
普通のお箸を使いたがらないのは、手先の力が十分に育っていないからなのかもしれません。リング付きの補助箸から普通のお箸までは、大人が思う以上に大きなステップがあります。まずは、普通のお箸を使うための「手先の力を育てること」が大切です。

普通のお箸を使うには、親指・人さし指・中指の3指でつまむこと、指を1本1本分離して動かすことなどが重要です。また、スプーンを3指持ちで使えることも

大切な過程です。実際にお箸を持つてみると分かりませんが、上側のお箸はスプーンと同じように3指で持つて支えます。開いたり閉じたりする時は、下側のお箸を止めたまま、上側のお箸を3指の曲げ伸ばしで動かします。こうした手指の力を、例えば、洗濯バサミの留め外しやブロック遊び、手遊び、細かな塗り絵といった遊びやお手伝いの中で育てていけるとよいです。

補助箸を使いながら少し意識して手先を使い、少しずつステップを踏んでいけるとよいと思います。

(作業療法士 北川 伸尚)



利用者様の居住スペース

季節の彩り

季節ごとに利用者様が見て楽しめるような飾り付けを心がけています。



秋のリースをトンボとダリアで作りました。



天井には手まりのような風鈴を下げました。



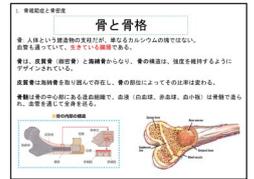
誕生日にあたる利用者様のお祝いツリーです。

医療安全講習を開催しました

2021年度 第1回医療安全講習が8月1か月間でオンライン開催されました。「骨密度減少と骨折事例 およびその対応について」というテーマで高山副院長にお話しいただきました。

数値とレントゲン写真を見ての事例解説は利用者様の骨粗鬆症の状態が視覚化され、具体的にイメージできました。今後、更なるリスク回避と骨折防止対策に繋げていけたらと思います。

(医療安全管理委員 中野 智子)



2020年度

事業活動計算書

勘定科目	本部拠点	多摩拠点	はちおうじ拠点	合計
サービス活動収益計(1)	21,362,415	4,116,685,173	558,453,485	4,696,501,073
サービス活動費用計(2)	17,852,352	3,962,272,292	561,748,986	4,541,873,630
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	3,510,063	154,412,881	-3,295,501	154,627,443
サービス活動外収益計(4)	2,071	10,406,943	355,793	10,764,807
サービス活動外費用計(5)	0	1,211,246	71,810	1,283,056
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,071	9,195,697	283,983	9,481,751
経常増減差額(7)=(3)+(6)	3,512,134	163,608,578	-3,011,518	164,109,194
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,512,134	145,581,500	-1,905,918	147,187,716
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	138,944,723	78,664,422	186,460,384	404,069,529

おしらせコーナー



CAPPの皆様 お会いできる日を待っています！

日本動物病院協会のCAPP（人と動物のふれあい活動）でお世話になっているボランティアの方から、セラピー犬たちのアルバムをいただきました。20年以上続いている活動も、現在は休止せざるを得ない状況ですが、より一層のつながりを感じた贈り物でした。



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)



shot!

ひとこと

ちょっとした楽しみになればと療育部室前にメダカとエビのボトルを置かせてもらっています。減った分だけ水道水を直足しするだけの雑管理で6月に入れたメダカの卵3個が孵化して今のところ3匹とも順調に育っています。小さな環境ですがどこまで保てるか、通りかかった際は覗いてみてください。



発行者

社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL

042 (374) 2071 (代表)

URL

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

